

2 各部の名称と機能

1. 各部の名称

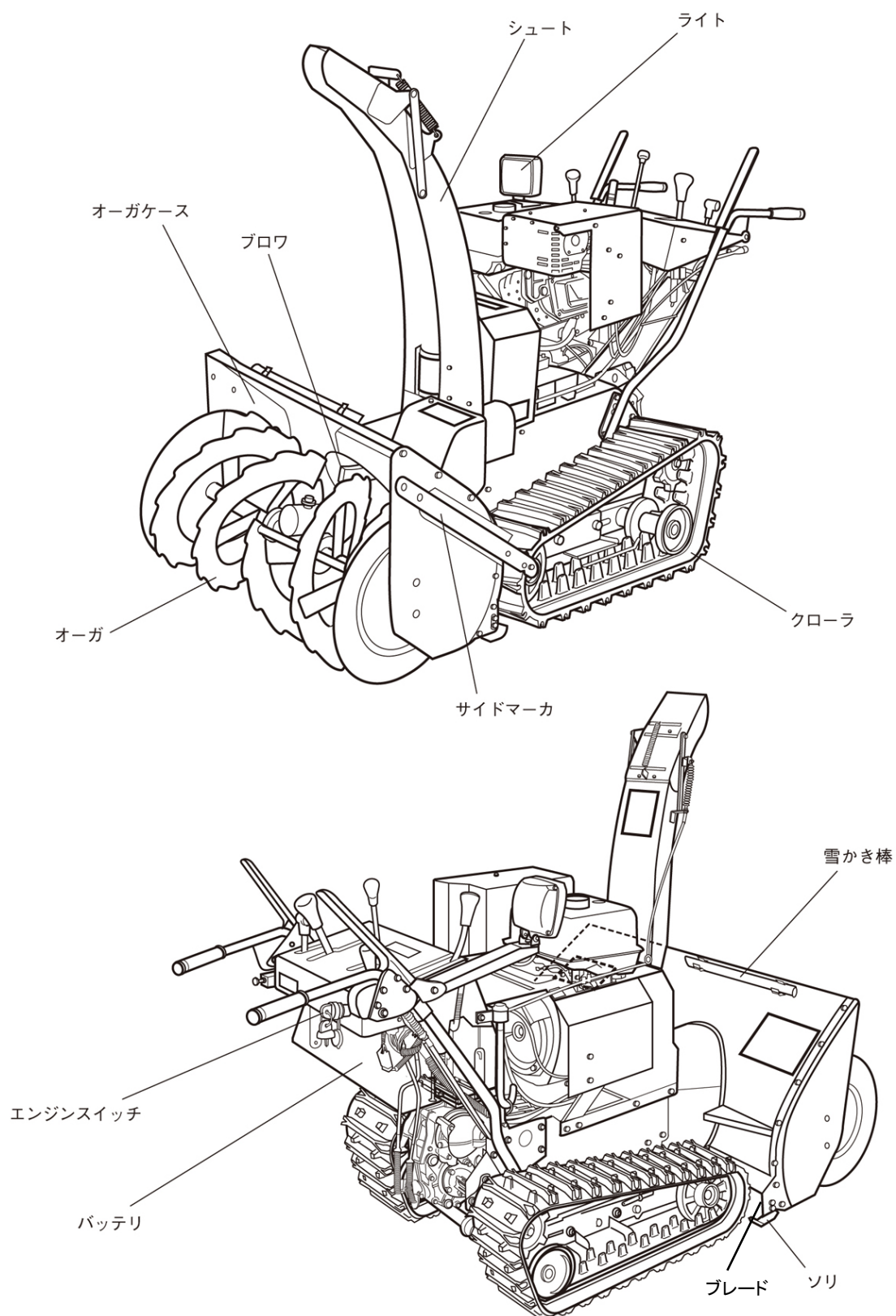


図 2-1

2. 各部の機能と使い方

エンジンの始動や除雪作業に使用する操作パネルの各部の名称・機能・使い方については、次の 3、4 を参照してください。

オーガ、オーガケース

エンジンで駆動され回転します。
積もった雪や、屋根から落ちた雪を、細かく碎きブロワに送り込みます。
このオーガを包んでいるのが、オーガケースです。
オーガ昇降レバーでオーガと一緒に上げたり下げたりします。
オーガケース下端には、ブレードがボルト止めされています。

ブロワ

エンジンで駆動され回転します。
オーガで碎いた雪を高速でシュートに送り込む役割をします。

シュート

ブロワから高速で送り込まれた雪を排雪します。
飛ぶ方向・距離の調整は、シュート上下レバー、シュート旋回レバーで行います。

クローラ

エンジンからミッションを介して駆動させます。
硬い雪や柔らかい雪の上でも安定して走行できる、除雪機専用のクローラです。

サイドマーカ

積雪がオーガケースよりも深いときに、除雪幅の目安としたり、除雪側面の切り開きとして使うか、または除雪断面の仕上げ用としてお使いください。

雪かき棒

シュートが雪詰まりを起こしたときには、この雪かき棒を使って詰まった雪を取り除いてください。

ソリ

除雪する路面の状態に合わせて上下させます。
ソリの取付のナットを緩めることで調整します。

3. 操作パネル各部の名称

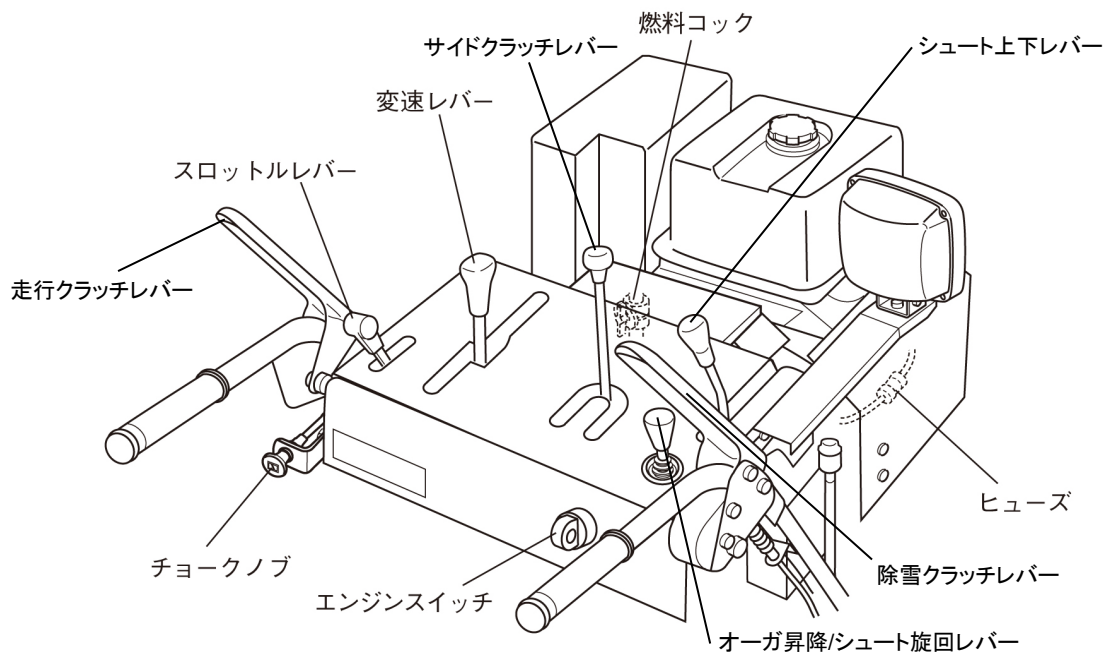


図 2-2

4. 操作パネル各部の機能と使い方

ここでは除雪作業に使用する操作パネルの各部の名称・機能・使い方について説明します。

1. スロットルレバー

エンジンの回転速度を調整します。除雪作業中は回転速度を最大にしてください。

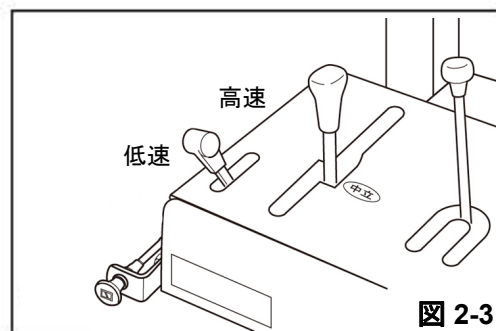


図 2-3

2. 走行クラッチレバー

レバーを握る(走)と走行クラッチが入り、レバーを放す(止)と走行クラッチが切れ、停止します。

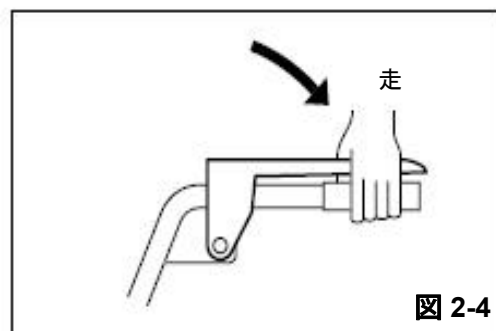


図 2-4

3. 除雪クラッチレバー

レバーを握る(回転)と除雪クラッチが入り、オーガとブロワが回転します。手を放すと自動的にレバーは「止」の位置に戻り、オーガ、ブロワが停止します。

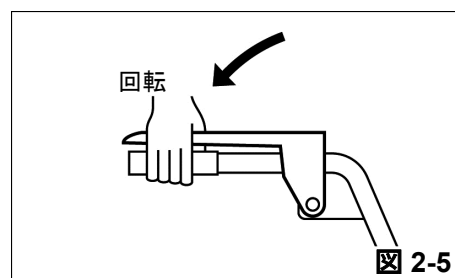


図 2-5

4. 変速レバー

- **前進または後進する場合** レバーを「前進」または「後進」方向に動かすと、走行します。前進走行時、レバーを「前進」上限位置まで動かすと、最高速度になります。(後進時も同じです)
- **停止する場合** 停止する場合にはレバーを「中立」の位置にします。

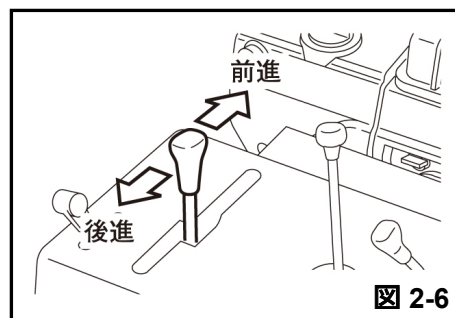


図 2-6

5. シュート旋回レバー(オーガ昇降レバーと兼用)

投雪方向をコントロールします。投雪方向は左右 110° の範囲で自由に選べ、レバーを左に倒すと左に旋回し、レバーを右に倒すと右に旋回します。

※シュートが左右旋回の限界位置になった時は、一度操作をやめてください。モータなどの故障の原因となります。レバーから手を放すとモータは停止します。

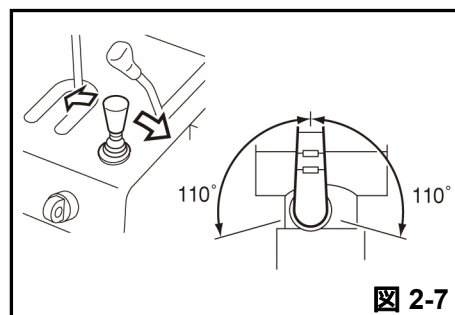


図 2-7

6. シュート上下レバー

投雪距離を調整するため、シュートキャップの上下をコントロールします。レバーを前方に倒すと、シュートキャップは上向きになり、雪は遠くへ飛びます。レバーを手前に引くと下向きになり、雪は手前に落ちます。

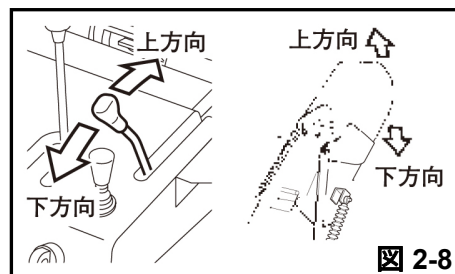


図 2-8

7. オーガ昇降レバー(シュート旋回レバーと兼用)

レバーを手前に倒すと、オーガが上がります。レバーを前方に倒すと、オーガが下がります。

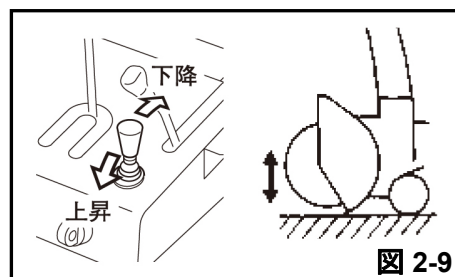


図 2-9

8. サイドクラッチレバー(機体を左右に旋回させるときに使うレバーです)

- **右に旋回する場合** レバーを右側の溝に沿って手前に引くと、右クローラの駆動が止まり、右旋回します。
- **左に旋回する場合** レバーを左側の溝に沿って手前に引くと、左クローラの駆動が止まり、左旋回します。

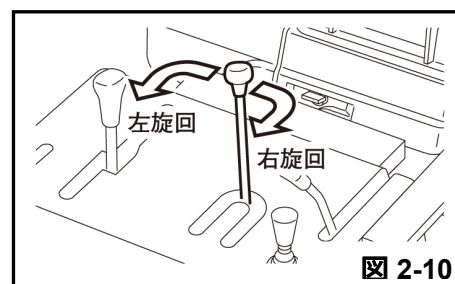


図 2-10